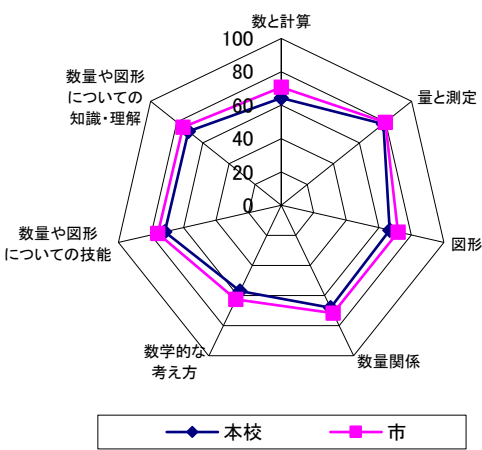


宇都宮市立桜小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と計算	64.3	70.8	65.9
	量と測定	78.2	79.9	77.0
	図形	66.7	71.8	74.6
	数量関係	68.1	71.7	73.4
観点別	数学的な考え方	57.0	62.5	59.4
	数量や図形についての技能	71.5	75.8	73.3
	数量や図形についての知識・理解	71.1	75.1	76.3

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	○分数×整数、分数÷分数の計算の正答率は市の平均をそれぞれ2ポイント上回った。 ●図を使って、分数の除法の文章問題に合った式を選ぶ問題の正答率は市の平均を大きく下回った。	・練習問題などに繰り返し取り組ませて学力を付けさせたい。 ・文章問題が表す式や図の意味が理解しやすいような教具や教材の活用を増やしていきたい。
量と測定	○ひし形の面積を求める問題の正答率は、市の平均を4ポイント上回った。 ●値に0があり、答えが小数になる連続量の平均を求める問題の正答率が市の平均を大きく下回った。	・面積や体積の求め方については、よく解けるようになってきた。単位量を求める場面において、復習やまとめの問題などで学び合いの場面を増やしながら理解の定着を図りたい。
図形	○三角形の内角の和が180°であることを用い、2つの角が与えられた三角形の1つの外角を求める問題では、市の平均を5ポイント上回っている。 ●合同な三角形を作図する問題では、市の平均を大きく下回った。	・引き続き作図や求積方法などの理解を高めていきたい。 ・対称な図形について、線対称と点対称との違いを確認しながら、まとめの問題で取り組ませる。
数量関係	○いろいろなグラフの読み取りの問題では、市の平均を少し上回り、90%を超える正答率だった。 ●反比例についての表を読み取り、表にあてはまる数を求め問題では、市の正答率を大きく下回った。	・比を読み取ったり比較量を求めたりする問題について、まとめの問題で定着を図りたい。